

暑さ対策の新常識:夏こそ断熱が効く理由

今月の特集

猛暑が続く日本の夏、多くの人が冷房に頼りますが、実は夏こそ断熱が重要です。一般に冬の対策と思われがちな断熱ですが、夏の暑さ対策としても非常に効果的なのです。今回は、断熱の基本と夏に必要な理由を紹介します。

夏の断熱がもたらす 多様なメリット

住まいの断熱の基本は、熱の出入りを遮断して室内外の温度差を生み、冷暖房の熱効率を上げることです。外部からの熱の侵入を防ぎ、室内の冷気や暖気を逃がさないようにする役割を果たします。これにより、エアコンの効率が上がり、省エネにもつながります。

多くの人は、断熱を冬の暖房対策としてのみ考えがちですが、実は夏こそ断熱が重要なのです。夏の強い日差しや外気の熱が室内に侵入するを防ぐことで、室内温度の上昇を抑え、快適な空間を維持できます。また、室内の冷気が外に逃げにくくなるため、エアコンの効率が大幅に向上し、電気代の節約にもつながります。さらに、断熱性能が高い家では、室内温度の急激な変化を防ぐことができるため、熱中症のリスクを軽減できます。これは特に高齢者や子供にとって重要です。また、夏場の結露を防ぐことで、カビやダニの発生を抑制し、健康面でも大きなメリットをもたらします。

断熱性能が高い家では、エアコンの使用を控えめにしても快適に過ごせるため、我慢することなく省エネが可能になります。このように、夏の断熱対策は単に暑さをしのぐだけでなく、健康、快適性、省エネなど、多くのメリットを

もたらすのです。

理想的な断熱性能を実現する 高性能住宅「FPの家」

では、どのような住宅が理想的な断熱性能を持つのでしょうか。その答えの一つが「FPの家」です。「FPの家」は、「FPウレタン断熱パネル」で隙間なく室内を囲むよう設計された高気密高断熱の全国トップクラスの高性能住宅です。「FPの家」は、優れた断熱性能を持つFPウレタン断熱パネルにより、外部からの熱の侵入を効果的に防ぎます。また、隙間のない設計により、冷気や暖気の漏れを最小限に抑える高い気密性を実現しています。これにより、夏は涼しく、冬は暖かい快適な室内環境を年中提供します。高い断熱・気密性能は、エネルギー消費の大幅な削減にもつながります。さらに、結露

やカビの発生を抑えることで健康的な住環境を提供し、急激な温度変化による健康リスクも軽減します。このように、「FPの家」は年中快適な住み心地と省エネ、健康と安全の全てを兼ね備えた理想的な住宅と言えるでしょう。夏の暑さ対策として、エアコンの設定温度を下げたり、使用時間を増やしたりするのではなく、住宅自体の性能を上げることが重要です。それにより、快適性と省エネを両立させることができます。

これからの季節、暑さ対策を考える際は、ぜひ断熱性能にも注目してみてください。そして、本格的な注文住宅をお考えの方は、「FPの家」を選択肢の一つとして検討されてはいかがでしょうか。快適で健康的、そして環境にも優しい暮らしが、きっとあなたを待っています。



住まいの知恵袋

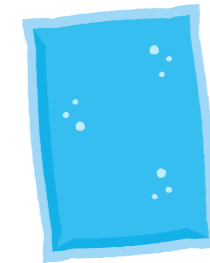
工事請負契約書



工事請負契約書は、注文住宅建築における住宅会社と施主間の重要な法的文書です。工事内容、期間、金額、支払条件、責任範囲などを明確に定め、双方の権利と義務を規定します。これにより、トラブル防止や法的保護、品質保証などの役割を果たします。契約書には、詳細な工事仕様、工事スケジュール、瑕疵担保責任、契約解除条件などが含まれます。作成時は専門用語の理解、細部の確認、変更への対応策を明確にすることが重要です。施主は契約内容を十分理解し、疑問点は遠慮なく確認することが大切です。必要に応じて専門家のアドバイスを受けることも検討しましょう。適切な契約書作成により、円滑な工事進行と理想の住まいづくりが実現できます。

できた! 簡単DIY

ウォーターベッド



暑い夏の熱中症対策として、ひんやり快適なウォーターベッドをDIYで作ってきましょう。用意するものは、大きめのビニールシート、アイロン、クッキングシート、ダクトテープ、食用色素です。まず、ビニールシートを必要なサイズにカットし、2枚重ねて、継ぎ目をクッキングシートで挟み、その上からアイロンで圧着します。この時、水を入れるための穴を残しておきます。次に、ビニールシートに水を入れ、食用色素を数滴加えることで、見た目も涼しげになります。空気をしっかり抜いて、ダクトテープで穴をしっかりと塞ぎます。シンプルですが効果的な冷却アイテムで、暑い夜も快適に過ごせます。家族と一緒に作って楽しむのもおすすめです。

お金の豆知識

投資型減税(認定住宅新築等特別税額控除)

認定長期優良住宅や認定低炭素住宅などを新築・購入した場合、一定の条件下で標準的な性能を超える部分の工事費用の10%が税額控除される投資型減税。その控除額は最大で65万円に設定されています。ただし、適用条件や他の控除との併用に関する制限があるため、詳細は最新の公的情報をご確認ください。

投資型減税



おしえて! Dr. 住まいる

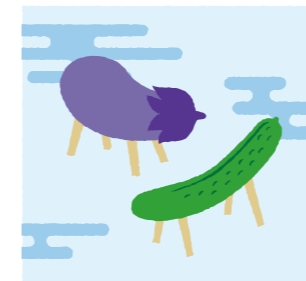
台風への備え

普段から、窓や雨戸を点検・補強し、側溝や排水口を清掃して水はけを改善しておきましょう。ベランダの物は室内へ移動し、強風で飛ばされそうな物は固定するか片付けます。非常用品の準備と避難場所の確認を忘れずに。停電対策として懐中電灯や充電器、携帯ラジオを用意したり、食料や飲料水の備蓄も大切です。



暮らしの1ポイント!

お盆



お盆の起源は1400年前の飛鳥時代、推古天皇の時代にさかのぼります。当初は僧侶や貴族の特別な行事でしたが、江戸時代に入り蠟燭や提灯の普及とともに一般化。庶民にとってお盆は、正月と並ぶ貴重な休暇期間でした。先祖の霊を迎え、供養と感謝を捧げるこの仏教行事は、現代も家族の絆を深める大切な機会となっています。